

# 事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

## 1. 基本情報

■事業の担当課	企画部都市プロモーション課	■担当係	広報コミュニケーション係
■評価事業名称	広報事業(広報紙発行等)		
■事業開始年度			
■評価事業コード	010300 - 101	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	06 市民が主役となり企業や行政と協働するまちづくり	
	■基本施策	04 信頼ある開かれた行政の推進	
	■施策	01 情報公開の推進	
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの		
■法令等の名称			
■関連計画の名称			
■事業の目的と概要	行政と市民との双方向のコミュニケーションを意識した情報発信および市外に向けた情報発信。広報紙、市勢要覧と同ダイジェスト版の発行。		

## 2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成30年度事業計画	平成30年度事業量実績
01	広報事業(広報紙発行等)	市民等	○広報紙は月2回(第2・4金曜日)年24回発行(全世帯および市内事業所、県内外自治体など・1回当たり約36,600部)○市勢要覧ダイジェスト版300部発行	○広報紙は月2回(第2・4金曜日)年24回発行(全世帯および市内事業所、県内外自治体など・1回当たり約37,000部)○市勢要覧ダイジェスト版300部発行

## 3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
直接事業費	16,445	18,523	19,463	19,790	
人件費	27,404	29,810	33,489	32,128	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	43,849	48,333	52,952	51,918	

## 4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	指標の説明
01	広報きたかみの全世帯配布	869,798部	874,450部	879,505部	888,785部	行政区長や地域の協力により全戸配布が実施されている。
02	北上記者クラブへの情報提供件数	1,016件	1,007件	986件	1,015件	紙、FAX、メールでの情報提供。市長日程、慶弔も含む。
03	広報紙印刷の1部当たりコスト	50.41円	55.27円	60.21円	58.41円	フルコスト/広報配付部数

# 事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

## 5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

### ■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

### 達成状況の分析

行政区長や地域の協力により広報紙を市内全世帯へ配布し、市内全域へ情報発信を行っている。市政要覧は、視察等の際に配布を行い市の紹介に利用している。

### 問題点・課題等

全世帯に配布を行っているが、読者の意見を取り入れる仕組みがなく一方の情報発信になっている。また、情報量や文字が多くて見づらい紙面になることがある。

### 1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

### 2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

### 3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

### 4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

### 5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

### 6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

### 7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

### 10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

### 11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

### ■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

情報量が多い場合はQRコードを利用してHPへ誘導したり、写真などを配置し、読みやすくわかりやすい紙面づくりを行う。また、定期的にアンケートを実施して意見を聴取する。

### ■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了